

## 貸借対照表

(2025年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	(11,348)	(負債の部)	(2,041)
流動資産	5,527	流動負債	1,118
売掛金	552	買掛金	166
商品及び製品	1,319	一年以内返済長期借入金	168
原材料及び貯蔵品	1,429	未払金	366
仕掛品	1,432	未払費用	398
短期貸付金	602	その他	19
未収金	182	固定負債	922
その他	8	長期借入金	167
固定資産	5,821	退職給付引当金	755
有形固定資産	5,192	その他	(9,306)
建物	739	(純資産の部)	
構築物	54	株主資本	9,306
機械及び装置	3,249	資本金	110
車両運搬具	0	利益剰余金	9,196
工具、器具及び備品	196	利益準備金	27
土地	15	その他利益剰余金	9,169
建設仮勘定	936	別途積立金	5,630
無形固定資産	13	繰越利益剰余金	3,539
投資その他の資産	614		
繰延税金資産	568		
その他	46		
合 計	11,348	合 計	11,348

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

製品、仕掛品

総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

原材料及び貯蔵品

総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

1) 有形固定資産 定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 8年～38年

機械及び装置 8年

2) 無形固定資産 定額法

3. 引当金の計上基準

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

当社は、EMI 除去フィルタ、積層パワーインダクタ、メタルアロイパワーインダクタの製造販売を行っております。製品販売については、製品の引渡時点において顧客が当該製品に対する支配を獲得することから、履行義務が充足されると判断しておりますが、当該製品の出荷から引渡までが通常の期間内であるため、当該製品の出荷時点で収益を認識しております。また、収益は、顧客との契約において約束された対価から、返品を控除した金額で測定しております。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

1) グループ通算制度の適用

当社はグループ通算制度を適用しております。

2) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(当期純損益金額)

当期純損失 266 百万円